

# 地震一口メモ No. 195

## 火山へ登山する時の情報収集

噴火から身を守るために

10月からは紅葉も見頃を迎えはじめ、登山に行かれる方もいらっしゃるかもしれません。登山の際に思い出していたきたいのが活火山の存在です。日本にはたくさんの活火山があり、それによって温泉や景観などの恩恵を受けている一方で、噴火すると甚大な被害をもたらします。今から7年前の2014年9月27日の御嶽山の噴火は、死者・行方不明者63人に上り戦後最悪の火山災害となってしまいました。この噴火は、紅葉シーズンの、晴れた土曜のお昼頃に起こったため、美しい紅葉を眺めながら登山していた方々を襲いました。そのような恐ろしい一面も持つ火山から身を守るために、登る山が決まったら、まずその山が活火山かどうか確認してください。活火山に登るのであれば、通常のように登山届を提出し、しっかり装備をするのはもちろんのこと、情報収集がとても大事です。気象庁が発表する情報について特に以下のものを事前・登山中に収集してください。



御嶽山の火砕流の様子  
(中部地方整備局の滝越カメラによる)

### <噴火警戒レベル>

火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分して発表する指標です。現在どのレベルか確認してください。

### <火山の状況に関する解説情報（臨時）>

噴火警戒レベルの引上げ基準に現状達していないが、噴火警戒レベルを引き上げる可能性があるかと判断した場合、または判断に迷う場合に、「火山の状況に関する解説情報（臨時）」を発表します。この情報が発表されている場合は、火山活動が活発化していることを認識して、気象庁が発表する情報により注意してください。

### <噴火速報>

登山者や住民に対して、火山が噴火したことを端的にいち早く伝えて、身を守る行動を取っていただくために発表する情報です。発表された場合は、直ちに身の安全を図る必要があります。登山中でも、ラジオやスマートフォン、携帯電話などで知ることができます。

また自治体などが作成している「火山防災マップ」を見ることで、各火山のレベルごとに起こりえる噴火現象や、どの範囲にどんな火山現象が起こるのか知ることができます。

気象庁が発表している情報は以下のHPで確認できます。

### ●火山登山者向けの情報提供ページ

[http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity\\_info/map\\_0.html](http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html)

#### 火山登山者向けの情報提供ページ（全国）

個々の火山毎に、気象庁が発表している火山情報等をご覧ください。

噴火警戒や火山の状況に関する解説情報を発表していない火山は各地方のページから選ぶか以下のリストから選択してください。

地方   火山

#### 新着情報

最近1週間以内に情報を発表した火山

▶ 諏訪之瀬島：火山活動解説資料（2021年9月17日04時40分発表）